

| | | | |
|---|------------------------------|--------------------------------|---|
|  | <p>2023年 6.1 第2号</p> | <p>特別支援学校支部だより</p> <p>笑顔の輪</p> | <p>発行所 富山県教職員組合 富山市千歳町1-2-7 教育会館内 TEL (076) 441-4451 FAX 441-3910 Eメール ttu@room.ocn.ne.jp</p> |
|---|------------------------------|--------------------------------|---|

新年度もあっという間に2か月が過ぎましたが、みなさん変わりなく過ごしておられますか。困ったことやわからないことがあればお気軽にご連絡ください。

さて、6月23日(金)に2023年度特別支援学校支部の総会が開催されます。今号では「2023年度特別支援学校の運動方針(案)」を掲載します。経過報告、予算(案)等については、後日お手元に届く総会資料でご確認ください。

みなさんからたくさんのご意見・ご質問をお待ちしています。



2023年度 特別支援学校支部 運動方針(案)

1 特別支援教育をすすめるとりくみ

- (1) 保護者のみならず様々な個人や障害者団体との連携を強化して、特別支援教育の進展をめざします。
- (2) 教員の増員を求めます。特別支援学校と小中学校特別支援級に定数加配を要求します。
- (3) 県独自の予算で特別支援学校高等部普通級と小中学校の特別支援学級の定員6人以下学級を要求します。また、日教組を通じ、国に対して特別支援学校高等部普通級と小中学校の特別支援学級の定員の改善を求めていきます。
- (4) 施設、設備、校具、教具については、特別支援教育の将来的展望を考慮しながら、特別支援学校設置基準に基づき、障害の種類及び程度、児童生徒数などに応じて、指導上、保健衛生上、安全上及び管理上適切なものになるよう要求します。
- (5) 寄宿舍教員数が削減されることのないよう県の動向を注視するとともに、寄宿舍教員の重要性を訴え計画的な正規採用を要求します。
- (6) 「スクール・サポート・スタッフ」「給食配膳員」「介助員」「図書館司書」「就労定着サポーター」など教員を支援するスタッフの適正な配置と増員を要求します。
- (7) 医療的ケアの充実のため、「看護師」の増員と時間数増加および待遇改善を要求します。
- (8) 特別支援教育に理解のある管理職を配置するよう要求します。
- (9) 地域交流、居住地交流、居住地校交流や学びの場の変更が円滑に進められるように条件の整備を求め児童生徒の豊かな生活が保障される学校づくりをめざします。そのためにも、特別支援学校に在籍する子どもが居住地の小中学校にも籍を置くことができる「副籍制度」の導入を県教委に求めます。
- (10) 特別支援学校の障害種に応じた特性やライフステージにあった必要な支援について、通常級を含む保護者や教職員に周知するよう求めます。
- (11) 特別支援学校の需要費等の増額と支給時期の適正化を要求します。

2 生活と権利を守るとりくみ

- (1) 県教組とともに給与の改善を強く求めると同時に、「地域手当」を全県一律支給とするよう求めます
- (2) 「目標達成度による教員評価」は教育現場にそぐわないため、賃金・人事に反映されないよう強く求めます。また個人面談がハラスメントにつながらないように求めます。
- (3) 教職員の勤務条件と待遇が改善されるようとりくみます。
 - ① 「とやま学校働き方改革推進プラン2023」の周知を求め、教職員の心身の健康を守る具体策になるようとりくみます。
 - ② 働きやすい職場環境をめざし、会議、研修等による超過勤務の解消にとりくみます。
 - ③ 特別支援教育に関する学校受け入れ研修の業務負担軽減にとりくみます。
 - ④ 業務が個人に集中することのないよう業務の平準化、削減、効率化を求め、他県や他校の好事例の情報の発信にとりくみます。
 - ⑤ 男女がともに仕事と生活が両立でき、多様な働き方ができるようにとりくみます。
 - ⑥ ゆとりある教育実践の環境を作るために、担当授業時数軽減を求めます。
 - ⑦ 免許外教科担当および臨時免許の早期解消に向けてとりくみます。
 - ⑧ 特別支援学校に勤務する「教員」「寄宿舍教員」「臨時的任用講師」「任期付職員」「会計年度任

用職員」など様々な職種の教職員の待遇改善を求めます。

- ⑨ 舎監の勤務軽減に向けてとりくみます。
- ⑩ 教職員の人事異動に際しては、男女比、年齢構成、専門性などに配慮し、希望と納得の人事異動となるよう求めます。
- ⑪ 再任用希望者がフルタイムを含む希望通りの勤務時間形態で働くことができるように求めます。

3 教育研究活動のとりくみ

特別支援教育の実践的な理論追求と教育現場の実態に即した活動をふまえ、自主的な教育研究活動を推進します。

- (1) 「共に生きる権利」「発達する権利」の学習を深め、本人と保護者の願いに応えるとりくみをすすめます。
- (2) 有益で民主的な研修のあり方を追求します。
- (3) 以下の集会において還流活動を積極的に行います。
 - ① 教育講演会 11月11日
 - ② 教育研究全国集会 1月
 - ③ 三プロ障害児教育学習会 7月29日、30日
 - ④ 障害児教育研究集会 8月4日、5日
 - ⑤ 教育を語る会 6月17日

4 専門部のとりくみ

青年部、女性部、寄宿舎教員部、養護教員部の活動をさらに前進させるために、学習会や相互の理解と親睦を深めます。さらに栄養職員部、臨時採用教職員部の組織強化をすすめます。

5 組織の団結・強化のとりくみ

- (1) 組合員の要望をまとめて分会要求とし、分会一致の運動としてとりくみます。
 - ① 分会役員連携・連帯強化をはかります。
 - ② 分会集会の活性化をはかり、分会組合員の意見交流を活発にします。
 - ③ 定期的に校長交渉を行い、身近な職場環境の改善をはかります。
- (2) 支部・県教組のとりくみや運動の成果を、分会の組合員へ広く知らせます。
 - ① 支部だよりを発行し、支部のとりくみや情勢などについて知らせます。
 - ② 分会集会、分会の組合掲示板等をとおして組合のとりくみを知らせます。
- (3) 新採加入パンフ等を活用し、新採、臨任、再任用の加入促進を積極的にすすめます。
- (4) 「分会の集い」を開催し、仲間意識を深めながら、日々の声かけを行います。
- (5) 「共助」に重きを置き、「信頼され、役に立つ組合づくり」を意識して、組合員一人ひとりが支部活動への理解を深め、仲間の和（輪）をひろげる活動を展開します。

以上

特別支援学校支部「教育を語る会」

富山県発達障害者支援センター「ほっぷ」が実施する支援講座で、富山県にもゆかりの深い、山梨県立大学 教授 阿部美穂子さんが講師を務める限定配信映像を視聴し、日頃の支援における悩みなどを共有する場にします。

日時：6月17日（土）13：30～15：00

場所：富山県教育会館3階

※詳しくは分会に配付したチラシや組合HPをご覧ください。HP→



参加者募集

全国の仲間と交流してみませんか？

- 三プロ障害児教育学習会（7月29、30日 滋賀県）
- 母と女性教職員の会全国集会（8月2日 東京都）
- 両性の自立と平等をめざす教育研究会（8月3日 東京都）
- 障害児教育研究会（8月4、5日 東京都）
- 北陸ブロック 母と女性教職員の会（8月20日 富山県）

※詳しくは組合HPをご覧ください。

